

| | | | | | | |
|-----|---|--|----|---------|---|------|
| No. | 109 | 磯観察 | | | | |
| 概要 | 磯の生き物を見つけ、観察する。 | | | |  | |
| 内容 | 人数(人) | ~40人 | 時間 | 3~4時間 | | |
| | 対象 | どなたでも | 時期 | 春~秋 | | |
| | 場所 | 坂浦海岸 | | | | |
| | 指導形態 | 自主活動 | | 事前の説明のみ | | 直接指導 |
| | 安全管理 | 引率者と担当職員による監視 | | | | |
| ねらい | ○海辺にいる生物に興味を持つ。 ○海での安全な活動のために、気を付けなくてはならないことを知る。 ○自然や環境を大切にすることを育む。 | | | | | |
| 準備 | 施設から貸出 | ・ライフジャケット(子供用・大人用) ・観察用品(バケツ、手網、箱メガネ) ・白バケツ、プラスチックトレイ、水槽、水タンク、ブルーシート、バスの座席用防水シート ・無線機、雷探知機、救急用品(レスキューチューブ、救急セット、熱中症セット) | | | | |
| | 団地で準備 | ぬれてもよい服、ぬれてもよい靴(サンダル、クロックスは×)、買い物袋、防寒着(風よけになるもの) タオル、帽子、日焼け止め、飲み物、あめ等(糖分・塩分補給用:必要であれば) | | | | |
| | 確認事項 | ・外部講師が同行できない場合は、実施しない。 ・出発する前に着替えを浴室の脱衣所(またはシャワー室)に置いておく。 ・送迎バスの運行が湖面活動と重なった場合は、送迎の時刻を調整する(下記参照)。 | | | | |

| | 内 容 | 留意事項 |
|-----|---|--|
| 活動前 | <職員、講師との打ち合わせ> ・実施の可否を確認。 ・集合場所と集合時刻の確認 ・観察マナー、安全指導など注意事項の確認 <出発準備> ・シャワー室、脱衣所、研修室等で着替えを済ませておく。 ・着替えを脱衣所(またはシャワー室)に準備しておく。 ・持ち物を確認する。 | ○実施判断 ・天候や磯の状況、参加者の状況等を考慮し、相談の上、実施の判断をする。 ・午前と午後の団体入れ替えがある場合は、人数に応じて、着替え場所を調整し指定するので、要確認。 |
| 展 開 | 1)ロビーに集合 ・ライフジャケットを着用し、バスに乗る。 2)バスで坂浦海岸に移動。(20分程度) ・バスの中で、安全面やマナーについての注意を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・危険な生き物 (クラゲ、ウニ、ゴンズイ、オコゼなど) ・危険な行動 (走る、跳ぶ、海に背を向ける、指定した活動範囲の外には行かない 等) ・採ってはいけない生き物 (ウニ類、サザエ、あわび 等) </div> 3)現地到着後、トイレの場所を確認する。(箱メガネ・手網をバスから降りてすぐに個人に渡す。) 4)磯観察をする前に、次のことについて指導する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○活動する範囲を確認する。 ・指定された範囲内で、必ずバディと共に活動する。 ○生き物の住み家にお邪魔するという気持ちを持って活動する。 ・生き物をむやみに傷つけない。 ・生き物を大量に捕獲しない。 </div> 5)磯観察をする。 ・ライフジャケットを付けたまま、バディシステムを用いて活動(磯から上がった後、必ずバディの存在を確認する。) ・捕獲した生き物について、講師の話聞く。 ・観察し終わったら、捕獲した生き物を元の場所に放す。 6)ライフジャケットを着たままバスに乗ってサン・レイクに帰る。 ・バスに乗る前に箱メガネと手網を返す。 7)サン・レイクに到着後 ・ライフジャケットや使った道具を洗って干し、返却する。 ・靴も水洗いし、干す。(シャワー、着替え後に回収。) ・着替えをする(浴室の利用はシャワーのみ可)。 | ・出発前にトイレを済ませておく。 <引率者、講師、職員> ○活動前 ・監視体制の確認(分担して監視場所に立つ等) ○活動中 ・水分補給、休憩を適宜行う。 ・安全について十分注意する。 ○活動終了後 ・人数、体調を確認。 ・砂をよく落とし、館内に入る。 |